

令和6年（2024年） 長芋（やまのいも）病害虫防除体系(登録薬剤) JA庄内たがわ

2024.1.1時点の農薬登録情報により作成

種類	対象病害虫	登録農薬名	希釈倍数	水100%当たり薬剤量	使用時期	使用回数	RACコード	備考
殺菌剤	炭そ病・葉渋病	ラビライト水和剤	400倍	250g	収穫14日前まで	4回以内	F:1 F:MO3	散布
	葉渋病	キノンドー水和剤40	600倍	166g	収穫14日前まで	5回以内	F:MO1	散布
殺虫剤	ネコブセンチュウ	ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	—	植付前	1回	I:1B	全面土壌混和
	コガネムシ類・アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤	4kg/10a	—	植付時	1回	I:4A	植溝土壌混和
	アブラムシ類・ヤマノイモコガ・ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1000倍	100ml	収穫14日前まで	3回以内	I:3A	散布
	ハダニ類	コロマイト乳剤	1000倍	100ml	収穫7日前まで	2回以内	I:6	散布
	カンザワハダニ・ナガイモコガ	コテツフロアブル(劇)	2000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:13	散布

*トレボン乳剤は、桑園・河川付近で使用禁止。

防除時期	対象病害虫	登録農薬名	薬量	使用時期	使用回数	備考
植付直後	一年生雑草 (ツクシ科、かっリガ科、アヲ科、切科を除く)	トレファノサイド乳剤	200~300ml/10a	植付直後	1回	H:3 全面土壌散布 散布液量(100ℓ/10a)
植付直後 萌芽前 雑草発生前	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤30	200~400ml/10a	植付直後 萌芽前 雑草発生前	1回	H:3 全面土壌散布 散布液量(100ℓ/10a)
生育期	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	150~200ml/10a	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期ただし収穫60日前まで	1回	H:1 雑草茎葉散布 全面散布 散布液量(100~150ℓ/10a)
生育期	一年生雑草	ザクサ液剤	300~500ml/10a	雑草生育期萌芽前又は畦間処理、ただし収穫30日前まで	2つの薬剤を合わせて3回以内	H:10 雑草茎葉散布 散布液量(100~150ℓ/10a)
生育期	一年生雑草	ハスタ液剤	300~500ml/10a	雑草生育期植付前又は畦間処理、ただし収穫30日前まで		H:10 雑草茎葉散布 散布液量(100~150ℓ/10a)

適正管理対策

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 適正な栽培密度とし、重なり枝の間引きや枝吊り等を実施し、通風・作業性の改善を図る。
3. 圃地の適正な排水管理を行う。
4. 剪定枝、落葉等を適正に管理する。
5. 徒長枝やひこばえ、枝折れ等、病害虫の温床となる部分は、病害虫の発生時期を考慮し随時除去する。
6. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
7. みつばちへの配慮を行う。
8. ダイオキシン含有、環境ホルモン、水質汚濁性、発がん性の疑われる農薬を出来る限り使用しない。

防除器具の洗浄不足対策

- ・防除器具は、前回散布後にじゅうぶん洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調製前にもう1度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用後、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。